

4 沼津駅周辺総合整備事業の事業効果について

沼津の中心市街地は衰退傾向で厳しい状況にあるが、将来に向けて新たなまちづくりを進め、魅力的なエリアであるために、この総合事業は重要であると共に早期の事業効果が必要。



質問の背景

- 核となる鉄道高架事業について、県・市が連携して推進に取り組んでいるが、着工時期が見通せないことから、民間の開発投資が進まず、中心市街地の停滞感は依然として好転していない。
- 事業推進の鍵を握る新貨物ターミナルの整備に関し、土地の強制収用に向けての裁決申請も行われ、用地取得に向け大きく前進。

質問内容

Q 工事着後、どのように工事が進捗し、事業効果が現れてくるのか？ 以前、知事が現貨物基地跡地に「アスルクラロのサッカースタジアムを作ったらどうか」との提案もあったが、市民が夢や希望が持てるアイデア、プランはないのか？

県の答弁内容

- 現貨物、車両基地の移転後の跡地利用が可能になるので、行政施設、子育て支援施設、医療福祉機関などの導入を検討していく。また、高架事業工事後、沼津駅に暫定の南北自由通路の設置も検討している。

5 漁場環境の変化への対応について

水産業のまち沼津においても、年々沼津港への水揚げ量が減少し、関連する仲卸業や沼津特産のひもの等の加工事業者は減少傾向にあり、抜本的な対策が急務。

質問の背景

- 本県沿岸は、多様な水域環境が存在し、全国でも有数の水揚げを誇るキンメダイや、国内で唯一水揚げされるサクラエビをはじめ、タカアシガニ、トラフグ、アサリなどを対象に、多様な漁業が営まれている。
- これら漁業の多くでは、漁業者が操業時間や、漁具の形状、数などに制限を加えるなど操業に関するルールを定め、自主的な資源管理に取り組んでいるが、近年、サクラエビなど、多くの魚種で漁獲量の減少が顕在化。
- 水産資源の減少は、漁業による漁獲に影響を与えていることもあるが、一方で、地球温暖化や漁場(ぎょしょう)環境、黒潮の大蛇行といったことが影響しているのではないかとされている。
- 他方、県の水産技術研究所では、水温や塩分など漁場の環境に関するモニタリング調査を長期間実施し、そのデータが蓄積されていると伺っている。

質問内容

Q これらのデータをより有効に活用し、本県の漁場環境の変化について明らかにしていくことが重要、また、この漁場環境の変化について、更に詳しく調査を実施する必要があるのでは？



県の答弁内容

- 水産技術研究所の70年近く蓄積したデータを大学や研究機関と活用できる様、データプラットフォームを構築すると共に、漁業環境をより詳細に調査するため、追加的調査を緊急に実施する予算も計上した。

加藤 元章 プロフィール 昭和38年11月9日 旧原町生まれ



- 静岡県立富士高等学校卒業
- 早稲田大学 政治経済学部卒業
- 三菱自動車工業(株)東京本社勤務(商品企画プロダクトマネージャー)
- H15 沼津市議会議員初当選、以降、4期連続当選
- 総務経済・民生病院・建設水道 委員長歴任、第94代副議長
- H30 沼津市長選挙挑戦
- H31 静岡県議会選挙初当選、自民改革会議所属

加藤もとあき事務所

TEL 055-962-3190

FAX 055-960-9720

〒410-0036 沼津市平町 24-4-902

E-mail : motoaki-kato@npo-stds.com

HP : http://www.motoaki-kato.net



静岡県議会議員・自民改革会議

加藤もとあき

県議会
レポート
Vol.1



～豊かな県政、夢と希望の沼津～



各新聞社も質問結果を掲載!

県政および沼津市の諸課題に対し静岡県議会での初質問をさせていただきました!

1 地震・津波対策について

静岡県&沼津市の最重要課題は、南海トラフ地震を想定しての県民の命を守る地震・津波対策! 発災時に命に直結する課題を質問しました!

(1) 命を救う津波避難ビルの拡大! ←5~10分で津波到達!

質問の背景

- 沼津市では、地震後の津波の到達時間が5~10分なので津波避難ビルを極力、身近な所に増やすことが重要。
- これまで、沼津市議会では、津波避難ビル指定に関し「3階建鉄筋コンクリート造りの建物」とする国の基準 に対し、市街地では津波浸水深が1~1.5mとされたことから、それより高くなる2階建の建物でも認める様に促してきた。
- ようやく近年、3階建以上という国の基準が廃止され、浸水深と建築物の構造等により、2階建でも可とされた。



東日本大震災被災地にて

質問内容

Q 県として、改めて津波避難ビルの追加指定を推進、強化し、津波の犠牲者を更に減らすべきでは？

Q 津波避難ビルをすぐに認識できる様、建物外側に、全県統一の夜間でもわかる表示看板を設置すべきでは？

県の答弁内容

- 今後、地域局単位で市町への説明会を行い、津波避難ビル指定の拡大促進を計る。
- 表示看板はJIS規格の絵文字の標識設置を経費支援を含めて進めていく。



(2) 福祉避難所「東部モデル」推進! ←災害弱者を守る!

質問の背景

- 地震で自宅が損壊し居住できない場合、命を守ってあげなければいけないのは高齢者や障がいのある皆さん。
- 三島市は、指定避難所にあらかじめ「要配慮者のための避難スペース」を設けることを推進。
- これは板の間の体育館でなく、カーペット、畳など、床が柔らか

い柔剣道場や放課後児童クラブの部屋を活用し、福祉的機能を補完、必要物資をリスト化しておくもの。

- 県は、この取組みを基にH28年度に「東部モデル」という名称をつけマニュアル化し、他の市町に呼び掛けて、同様の取組を進めているが、県下35市町のうち20市町の取組みにとどまっている。

質問内容

Q 県民の安心を高めるため早急に全県に拡大すべきでは？
福祉施設、指定避難所内以外に、高齢者の皆さんが避難生活を送れる場所を拡充出来ないか？

県の答弁内容

- 「要配慮者のための避難スペース」を設けることの好事例を紹介し導入を促進していく。
- 高齢者要配慮者のための避難場所の更なる拡大は、旅館・ホテルを避難所として活用する取組を全県に拡大する様、県と静岡県ホテル旅館組合とで協定を結ぶように進める。



東日本大震災被災地避難所にて

中日新聞

(3) 沼津港の防潮堤整備と無電柱化の推進！ ←1日も早く安全、安心に！



質問の背景

- 沼津港周辺は観光客が増加する一方で、津波浸水区域のため、地震や津波発生時には多くの被害が想定されている。
- 今後も、観光客を迎え入れるためには、地震・津波対策の推進は必須であり、ひいては、この地区の常住人口の維持にも繋がる。

質問内容

- Q 県は防潮堤整備で、未だ沼津港周辺で未整備区間があるが、今後の整備予定は？
- Q 沼津港周辺は電柱が乱立し、地震発生時の避難路や緊急車両の通行路の確保のため、また、観光面からの景観への配慮として無電柱化を推進すべきだが今後の見通しは？

県の答弁内容

- 沼津港防潮堤の未整備は、①沼津港外港に入っていく道路区間②観音川河口部に隣接する区間の2か所であり、①は今年度中に道路の1m高上げ工事を行い対応、②は来年度から工事着手とする。
- 沼津港の無電柱化は重要と考えるので、沼津港入り口の都市計画道路「千本香貫山線」450mについて来年度からの工事着手を進めていくこととする。

2 東京2020オリンピック・パラリンピックについて

大会開催を契機としたレガシー（=大会終了後に残る成果）が重要であり、ひとつは、人づくり=教育に資すること。もうひとつは、自転車競技が行われることによる自転車（サイクリングスポーツ）の聖地としてのレガシーを残すこと！

(1)大会を通じた人づくり！

質問の背景

- 世界トップレベルの競技、選手、イベントに接することの子ども達への教育的意義は大きく、子ども達の価値観が変わったり、人生を左右するような大きな刺激があることも考えられる。

質問内容

Q 県として、この貴重な機会に、小中高生が競技を観戦、参画、交流するなど、教育的な施策をどう考えるか？

県の答弁内容

- 現在、自転車レースのテストイベントに児童、生徒を招待したり、県が誘致した事前キャンプので交流事業を実施。
- 今後は、大会組織委員会が大会本番の観戦を企画中であり、県もこれを積極的に活用していく。



10月に開催された東京2020オリパラテストイベント
@伊豆マウンテンバイクコース

(2) 狩野川サイクルロード整備と観光振興！ ←全国から10万、100万人の誘客！

質問の背景

- 狩野川堤防上のロードは、沼津港からオリンピック会場のあるサイクリングスポーツセンターに近い大仁までを結ぶ、概ね川沿いで、クルマの通らない、平坦な、20数キロのコースであることから、初心者や家族連れでも、狩野川の美しい風景や、世界遺産である富士山を望みながら気軽にサイクリングでき、また、食や温泉他、様々な観光スポットがコースに隣接。
- まさに、食やレジャーを楽しむことができる観光ルートとして全国的に有名となった中四国地方の「しまなみ海道」にも負けない



狩野川サイクリングを企画・実施

ポテンシャルを有していると考える。

質問内容

Q 狩野川沿いサイクリングコースとすることの課題は、狭い車道を車と並走しなければならないなど、交通の安全性や快適性の面で問題があること。多くの方が楽しめるサイクリングコースとして整備し、2020東京オリパラに併せ世界にPRができれば、東部地区の観光振興の目玉になると考えるが、県の今後の取組方針は？

県の答弁内容

- 狩野川堤防のコースは、一部区間でコースが判りにくいことや、路肩が狭く走りづらい箇所があることを認識しているため、危険箇所の周知、安全な経路へ誘導する案内看板の設置、路面標示の設置への対応について、国、県、市町で調整を進め、東京オリパラ後の東部、伊豆の観光振興につなげていくこととする。

3 犬・猫殺処分ゼロに向けた取り組みについて

保健所に保護された犬や猫の殺処分は神奈川県などではゼロを達成。「なぜ静岡県は出来ないのか？」小さな命、弱い命に優しい静岡県へ！

質問の背景

- これまで15年に渡り保健所で大量に殺処分される犬たちを救い、新たな飼い主を探す団体を有志で作り活動してきたが、保健所に保護される犬は変わらず、犬を救う活動は困難を極めている。
- これは動物愛護を担う県の課題であり、近年は神奈川県などでは、すでに譲渡ができる状態にある犬猫の殺処分ゼロを達成しているが、残念ながら本県はゼロを達成していない。

質問内容

Q 一番の問題は、家庭環境および経済面などで飼育能力のない人にまで犬や猫を販売してしまう商慣習、規制の甘さだが、適正販売に向け、県としての指導が出来ないものか？ 飼い主に対し我々の団体が保護犬譲渡の際に行なっている「終生飼養の誓約書」に署名させることなどを検討したらどうか？

県の答弁内容

- 立入検査を通じてペットショップ責任者に対し、犬猫販売時には、実物を見せて飼育費用や適切な運動方法等の説明を行うことの徹底を計る。また、本年の動物愛護法改正に合せ、遺棄虐待の厳罰化を徹底し、「終生飼養の誓約書」の対応も検討する。



定期的な実施している沼津市役所での保護犬と猫譲渡会

質問内容

Q 殺処分ゼロを実現している神奈川県などは、県職員が犬を綺麗にし、ワクチン接種、避妊去勢手術までやり譲渡に出している(本県は全部ボランティア)。本県でもその位の対応をすべきではないか？

Q 殺処分ゼロに向けた命を活かすための方針については？ 川勝県知事が、明日から殺処分の機械を止めると決断すれば出来ることではないか？

県の答弁内容

- 浜松にある県動物管理指導センターの機能強化（今後新設も検討）を進め、ボランティアの皆さんの意見を伺いながら県の動物愛護計画を見直し、協働して殺処分ゼロを達成していきたい。

加藤の追加要望

旧来の殺処分するための施設から、命をつなぐための施設への転換、新設が必要であり、その際は県東部への新設を是非お願いしたいと知事に要望。(県中部・西部は政令市の静岡市・浜松市が新設済み)